

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 毎月最終例会 18:00
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 和田正敏
 幹事 田部井良和
 会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No. 33

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

きょうの例会

第845回 平成12年3月28日(火)

友愛の日 18:00～19:00

先週の記録

第844回 平成12年3月25日(土)～26日(日)

第8回ライラセミナー

於：愛知県美浜少年自然の家
次週掲載させていただきます

先々週の記録

第843回 平成12年3月14日(火) 晴

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	71(66)名	出席	53名
出席率	80.30%		
前々回	2月29日	(修正出席率)	100%

◆ビジター紹介

2名

◆ゲスト紹介

青少年交換学生(派遣) 水野 茂洋君

ニコボックス

大須RC 尾上 昇君 ライラ委員会の皆様へ、盛会をご祈念申し上げます。

秋山 茂則君 おじさんとおぼしき男におばさんと呼ばれて小半日心さわがし (読んだ人60才以上女性)

伊原 正躬君 愛知厚生年金会館に例会場が戻りました。どうぞ宜しくお願い致します。

加藤 大豊君 12日の名古屋国際女子マラソンで高橋尚子選手の素晴らしい走りに感動致しました。其の後のレセプションで本人と長い時間久しく話が出来ました。

小林 明君 和田会長、有難うございました。

小坂井盛雄君 お水取り、火の粉を浴びて幸願う。

黒野 貞夫君 玄之会書展 今日からです。よろしくお祈りします。

黒須アイ子さん IMの報告をさせていただきます。

牧野登志子さん とっても良い事がありました！何があったかはヒ・ミ・ツ！知りたい方は〇〇まで…。

三輪 康君 ご無沙汰いたしております。

水野 民也君 孫がブラジルヘロータリーで行かせて頂きます。今日は一緒に参りました。有難うございました。

森 幸一君 前は私の卓話をお聞き頂きありがとうございました。

鈴木 正男君 本日早退させていただきます。

舎人 経昭君 ホワイトデーです。職員からチョコレートをもらいました。

和田 正敏君 再びこの愛する会場にもどりました。よろしく！

山本 英次君 ライラ懇親会用のダンスステップを作りました。ご協力下さい。

足立 一成君、二村 聡君、萩原喜代子さん、堀江宏輝君、池田 隆君、池森 由幸君、伊藤 健文君、神谷 幹雄君、神崎 住恵さん、加藤 重雄君、河村政孝君、菊池 昭元君、小林 俊幸君、小山 雅弘君、三好 親君、水谷 祥督君、西川 豊長君、西野 英樹君、大口 弘和君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、佐野 寛君、笹野 義春君、鈴木 理之君、田部井良和君、魚津 常義君、山田 壽勝君、吉田 節美君、吉田 玄君

久しぶりのホーム例会場、うれしい限りです。

青山 敏郎君 会員誕生日祝い。

伊豫田 副幹事報告

1. 次回例会は日時を変更し、25日(土)・26日(日)に愛知県美浜少年自然の家にてライラセミナーを開催致しますので、21日の例会はございません。

青少年交換学生 水野茂洋君挨拶

こんにちは

今年度ブラジルの第4580地区ジュイスフォーラRCに派遣される水野茂洋です。今月26日夜7時に出発予定でもう2週間を切りとでもドキドキしています。

ブラジルは日本の真裏にあるので、飛行機で27時間もかかるそうです。ブラジルはイメージ通り明るい国らしく昨年帰国した奨学生の中でも一番楽しく明るい

和田会長挨拶

はブラジルだったと地区委員長からも伺っています。

僕自身も明るい性格なので是非行きたいと思っていたところ希望がかないません。あちらでお世話になる第1ホストファミリーには先月5日迄日本にいたという男の子がいて少しなら日本語が話せるので嬉しいような、残念なような気がします。

僕は4人兄弟の末っ子で1番上の兄が94年にカナダに留学中、遊びに行った時に外人と話しているのにとっても驚き、又うらやましく思い、上の姉が96年アメリカで楽しそうに留学生活を送っていたり、98年には下の姉がフィンランドに留学し、どこことなく頼りなかった下の姉が、しっかりして帰国したのを見て、自分も絶対に行きたいと思っていました。今回ついに自分の出番となり、兄・姉のようになれるよう頑張っていきたいと思います。千種RCの皆様、今回ブラジルへ行かせて頂きありがとうございます。

ヴァータシ メルノーミエシ エミ オブリガータ
(ポルトガル語)

今はこれしか話せませんが、1年後しっかり話せるようになって帰ってきます。



会長より水野君へ激励の花束贈呈

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン授与



前年度、吉田(節)会長より、マルチプルポールハリスフェローとして会長にピンが贈られました。

◆ポール・ハリスフェローメダル授与



浅井 誠寿君、池森 由幸君、松島 孝彰君にポールハリスフェローとしてメダルを会長よりそれぞれ贈られました。

IMが、名東RCのホストで開催されフォーラムは、「21世紀への環境づくりー私たちはどう取り組むか!」でした。

我々が主催するライラセミナーのメインタイトル「地域社会とわたし」、サブテーマ「わたしのできる環境保全」・「わたしができるボランティア」、講師ジョン・ギャスライト様の演題:「21世紀は地球が主役!」が、IMのフォーラムのタイトルと類似していることに驚き、話の内容に興味を引かれました。

私が驚いたのは、来年度のIMが、名北RCのホストにより、今年の11月30日には開催される予定で、その年度に成ってからではとても準備が間に合わない為、大変な勢いで多くの行事が進行していることです。

2年後は、当クラブがIMを開催する予定になっています。ガバナー補佐の選出から始まり、ライラセミナーのように早い時期から実行委員長と実行委員会等の組織作りをしなければいけないようです。

今回のIMは、東急ホテルで行われ、式典・フォーラムの会場と懇親会の会場を別の階に分けて行いました。全参加人数は607名で、式典会場は横に長く奥行きが短く立ち見の人もあるほどで異常な熱気に包まれました。フォーラムでは、6人のパネリストとコーディネーター1人と多種多彩な顔ぶれがそろい、とても個性豊かなお話をされました。一人のお話を聞くだけでも今回のテーマについて十分に会議ができるのではないかと思う程すばらしいパネリストの方々が出席されたと思いました。一人の持ち時間は約15分と短くお互いパネリスト同士のディスカッションがなかったことは残念でした。

懇親会はとても広くりっぱな会場で開催されアトラクションは、愛知県立芸術大学の大学院生による、「なつかしき日本の歌シリーズ」独唱と合唱でした。食事の時間と同じ時間帯であったことで、会場がざわざわし彼らには気の毒なようでした。

我々も過去にIMを開きましたが、時間軸が一番大切だと感じました。

IM 報告

◆萩原 喜代子さん

21世紀の環境づくり(私たちはどう取り組むか!)に出席して

パネリストとして名古屋市長松原武久氏、(社)日本建築家協会(愛知)環境委員長 服部 力氏、アサヒビール(株)環境文化推進部長 中村 恭三氏、大垣くらしの会セミナー会長 立川 康子氏、名古屋ケナフの会会長 綱島 裕明氏がそれぞれの分野においての発言がありました。総じて、一人一人が今より少し環境問題について関心を持ち、自分達のできる身近なほんの小さなことから始めれば、それが大きな輪になっていくこと。そしてまだまだきれいな地球にもどしていただけるだろう、ということでした。

環境保全の3R①Reduce ②Re-use ③Recycle

を大切に、特にこれからは①、②でいくことが望ましい、との結論でした。懇親会最後の「手に手つないで」がことのほか今回のテーマと結びつき印象的でした。

◆黒須 アイ子さん

本年度のIMは、ガバナーの方針により、地球環境の保全と、人類の未来を守る行動を努めるためにテーマが決められたそうです。フォーラムコーディネーターの小川辰男様は、“20世紀に地球が汚され、傷つけられ、破壊されてきました。これは、ゴミ処理、CO₂、オゾン、エネルギー、ダイオキシン等の危険から地球を守るためには、一人でも多くロータリアンの各位が、家庭人、企業人、地域住民の皆様に働きかけて、環境保全を推進するように希望します。”と話されました。

松原武久市長は、ゴミ減量問題についてわかりやすく説明され、“本年度は20万トンの減量が目標ですから、1人1日100gの減量に協力してください。”と話されました。

日本建築家協会(愛知)環境委員長、服部力様は、建築関連の環境問題について、建物の耐用年数の増加などについてふれ、“ecologyはeconomyです。”と話されました。

アサヒビール(株)環境文化推進部長、中村恭三様は、会社の取り組みを紹介され、本年度の新環境基本方針を説明されました。

大垣くらしの会、セミナー会長の立川康子様は、“消費者も企業も地球を守るために生活の質の向上を考え、自己責任が大切な時”と話されました。

名古屋ケナフの会会長、綱島裕明様は、“子供の頃から生活システムの中に環境意識を取り入れることは、20~30年後の次世代に社会的「環境意識」を残すことができるかが、大きな課題となる”と話されました。

地球を守るために、毎日の生活の中から私達が出来ることが沢山あると認識させられました。そして、環境保全を推進するために将来のことも考えながら、まず実行することが重要なことと思われました。

◆卓話(3月7日分)

“環境と省エネ”

会員 森 幸一君



昨年12月に河村様のご紹介で入会致しました森でございます。

皆様方には快く又暖かく迎えて頂きこの場を借り、改めて御礼申し上げます。

入会致しました頃、当会の黒須様より書物を頂きました。ご主人が書かれた温故知新と言う書物です。古きを尋ねて新しきを知ることがいまこそ重要で必要な時ではないか?と考えています。

省エネと環境改善のお話をさせていただきますが、職業としてもそれを生業としております。

又私事ではありますが現在科学技術交流財団の中にエコジェネ研究会があり三年間を対象にその研究員を務めています。

研究員は名古屋大学高温エネルギー変換研究センターと産学協同で愛知万博協会、中部電力、三菱重工業など大手企業の技術者30名程で構成されていて環境に優しい省エネルギーの基礎研究がテーマとなっています。

社会に貢献されておられます皆様方の発展の代償として、その裏側では急速に環境悪化が着々と進み将来を悲観せざるを得ない状況であることをご報告申し上げ今後の対策及び参考になればと思います。

地球の資源はあくまでも有限でやがては底をついてしまいます。

私たちの欠かすことのできないエネルギーである電気もそれらの資源を活用することにより生みだされております。

人間が火を起こした時代から、水力発電、火力発電、原子力発電と時代は進みいろいろな問題が発生して来ております。

現在、原子力発電においては中部電力が地域住民の反対から断念致しました。反対された方たちも電気はなくてはならないものとの認識はありますが、原子力は船で例えますと大型船で威力はありますが泥舟での出港でやがて解けて沈没の可能性を秘め又その泥は既に汚染されており船が沈むと同時に汚染が広がり生物は死滅してしまいます。

将来起こるであろう問題を解決されないままの船出に対して住民が環境の問題を真剣に考えた結果ではないでしょうか?

我々の時代は何とかクリアできて子供時代の又孫の時代はどうなるのでしょうか?

平成9年10月8日に東京のホテルニューオータニで国会議員の方々、学識経験者では東京大学教授、東京理化学、横浜国立大学、武蔵工業大学、東京工芸大学学長、研究者、科学者など日本を代表される方々が集まり官民交流勉強会があり私も参加させて頂き、その席で興味深い話がありましたのでご報告申し上げます。

現在地球規模で環境破壊が進み、

*大気中の温室効果ガスが増え地球の平均気温が上昇しています。

[1]温暖化が進みますと気候が変わり森林が消え貴重な動物や植物が絶滅してしまう危険性があります。

[2]北極や南極の氷が溶け、海水が膨張し、その結果、島や大陸の一部が海に沈むことが考えられます。

[3]雨が多くなり洪水などの自然災害が増える地域ができる一方、逆に雨が減って砂漠化する地域ができることが考えられます。

[4]強大津波の発生

南極で起こった津波が日本に届くのには一晩もあれば十分でその上パワーが衰えないそうです。

*フロンガス及び亜酸化窒素の問題

オゾン層の破壊による環境悪化で紫外線量が増加して人の健康や生態系への悪影響を及ぼします。私たち人間を含む全ての生物細胞のDNAにダメージを与えます。

その結果、皮膚ガンや白内障や失明、体全体の免疫低下によってウイルス性の病気にかかりやすくなるそうです。

オーストラリアの保険研究所によると過去7年間で皮膚ガンの発生が二倍になり又メラノーマと呼ばれる最も悪性の皮膚ガンが目立って増えているそうです。

先月のニュースではニュージーランドでも皮膚ガン、白内障など、その原因がオゾン層の影響によることが発表され現在サングラスなしでは外も歩けない状況と報告していました。

日光浴は健康に良いといわれてきましたがこれは通常の紫外線Aで、ここで言います有害な紫外線とはこれまで過去においては地上に届かなかった、より波長の短い紫外線Bのことをいいます。

*大気汚染の問題

ごみ焼却場からでるダイオキシン

塩化ビニールの燃焼によって発生し、魚介類が汚染されている恐れと母体が汚染されると母乳を通して乳児へ…

環境ホルモン、二酸化炭素、水質汚染、海洋汚染、食料不足、など

信じたくない話ですが…

地球は現在、ガンで例えますと末期状態に入ったといわれています。

興味深い話と申し上げましたのは…

このまま行くと人類が生活するために問題なく呼吸ができるのは、つまり生活ができるのは後何年ぐらいか？という課題で…

東京大学、世界の科学者、学識経験者、で何年もかかってアンケートをとり、又コンピュータを使用して現状を調査した結果、三年前の発表で何とこのままいくと60年だそうです。

三年前の発表で60年ですから現在残り57年と言うことになりましたが実際には計算値より早くなっているようです。

地球が後57年で死滅するのではなく人類が現状通り生活することは出来ない状況になるそうです。

一般的には後数億年とか、計算できない年数を思いたいものです。

僅か57年とは驚いてしまいます。

何万年もかかって出来た石油でも我々人類は1世紀で使い果たしてしまう。全てが先送り、何か現在の膨大な赤字国債をみているような気がします。

現在赤ちゃんが誕生したら既にその赤ちゃんは何百万もの借金をしているそうですね。

赤ちゃん誕生おめでとうと本当にいえるのでしょうか？

問題を後回しにして借金で解決していればいつか破綻することは目に見えているような気がします。

我々は子孫に何を残せるのでしょうか？

驚くほどの赤字国債と地球環境破壊では本当にかわいそうな気がします。

我々がより良い生活をした分、子孫が考えられない状況及び環境で果たして無事生きていけるのでしょうか？

既にサジを投げている学者も多く、民主主義の原理を前面に押し出すと解決できないそうですが何か良い知恵はないのでしょうか？

現在の暮らしを100年前の暮らしに戻すことは不可能で、引くこともできず、止む無く破滅へ猛スピードで進んでいるようです。

国の取り組みとしても法律により解決を図ろうとの動きで省エネルギー法を新たに設定され違反した場合は罰則規定も大手事業場では設けられました。

電気を使用される全ての事業場は電気の有効利用による省エネに貢献しなさい…という内容です。

つまりエネルギーの中には本当に必要な部分と無駄に消費される部分が交じり合っていて、今まで無駄になっている部分をできるだけ有効に使うという思想です。

一人一人はわずかでも全員が取り組むことにより大幅な改善が可能となります。

皆様方の廻りで少しでも改善できることがあればそれは即、地球の為と言えます。又人間の大きい知恵によって損失を最小限に抑えるようなエネルギーの使い方は工夫できます。

他の国の学者が来て自動販売機の多さに驚かれ、資源を他の国に頼っている日本が一番電気の浪費をしていると、指摘を受けます。

自動販売機は一台で一般家庭1ヶ月分の電気の消費量と略同等です。

日本全体では600万台前後あるそうです。

これは原子力発電≒7基分に相当します。

街角に自動販売機が何台となく設置されていますが本当に必要なのか？と聞かれ言葉を失います。

電気料金の削減、水道の節水、水の浄化、院内感染などの防止、環境の問題等、水と空気はタダと言う時代は終わりました。

過去において地球環境などと申し上げますと、大それた事を、頭がおかしくなったのではないかと いわれておりましたが一般的に使われるようになり改めて問題が大きくなったことに言葉がありません。

解決案には永い年月が必要です。しかし残された時間はあまりありません。

今、我々がしなければならぬことは、先ほど説明致しました人類の寿命を皆様方のお力で少しでも延ばす工夫を今一度お考え頂くことが肝要と思われまます。

質問などがありましたら是非、お気軽に例会の折にでもお聞かせ下さいませ。

例会変更のお知らせ

名古屋名東RC 4/4(水)お花見例会の為、長久手町
杖が池公園にて
名古屋和合RC 4/5(木)お花見例会の為、か茂免にて
18時～

◆次回例会(4月4日)

卓話 “it (情報技術)時代を生きる”

会員 神谷 幹雄君

“はじめましてのご挨拶”

会員 牧野登志子さん